

国立西洋美術館のロダン《考える人》今秋、神戸で展示！ 兵庫ゆかりの二大コレクター 松方コレクション・山村コレクションの至宝を一挙公開

国立美術館 コレクション・ダイアローグ

松方幸次郎 × 山村徳太郎 蒐集のパッション

ーロダンを日本へ、具体を世界へ

National Museum of Art, Collection Dialogue
Matsukata Kojiro × Yamamura Tokutaro
Bringing Rodin to Japan, Taking Gutai to the World

2026年10月10日(土)~12月27日(日)



松方 幸次郎
(1866-1950)



山村 徳太郎
(1926-1986)

1 兵庫ゆかりの二大コレクター、初の本格共演！ 生誕記念の節目に実現する特別展

松方幸次郎生誕160年、山村徳太郎生誕100年を記念し、日本の美術文化の発展を志した二人のコレクターが遺した美術への情熱と功績を、一つの展覧会で紹介します。

2 ロダンからモネ、ゴーガンまで。名作67点が集結！

国立西洋美術館から26点を借用。松方コレクションよりロダンの代表作《考える人》、初期の傑作《青銅時代》のほか、松方が初めて鑄造に貢献した《地獄の門》に関連する彫刻11点などを展示。さらにクールベ、モネ、ゴーガンなど西洋近代美術を代表する名作を紹介します。

3 安藤忠雄建築で観る、当館限定の展覧会

本展は巡回なしの、当館のみ！
全67点の作品が織りなす展示空間を体験出来るのは本展だけです。
安藤忠雄建築の当館ならではの展示で作品をご覧ください。

4 兵庫へ里帰りの名画が登場！

山村が初期に蒐集し、西洋美術館へ寄贈した8点のうち5点が里帰り。ミロやエルンストの作品を当館で初公開。山村コレクションが、西洋モダンから日本の戦後美術へと広がる軌跡を立体的に紹介し、その「原点」と「展開」をたどります。

5 二人のコレクターが描いた美術館の夢

松方は公に開かれた美術館の創設を志し、山村は公共の財産になることを願い美術作品を蒐集。異なる時代に生きた二人がコレクションに託した、夢とその続きを辿ります。

6 専門家を招いてシンポジウムを開催

当館は保存修復室を持つ国内でも希少な美術館です。昨年度は絵画を中心としたシンポジウムを企画しましたが、今回は「彫刻」についてです。



オーギュスト・ロダン《考える人》1881-82年
国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏



白髪一雄《天異星赤髪鬼》1959年
兵庫県立美術館（山村コレクション）

開催概要

いまから約100年前、**松方幸次郎**（1866－1950）はヨーロッパで西洋美術の一大コレクションを形成しました。「共楽美術館」という美術館を建設して、日本に西洋美術を普及するという志を立てて。そして、松方からちょうど60年後に生まれた**山村徳太郎**（1926－1986）は、兵庫県西宮市を拠点に1950年代半ばから美術作品の蒐集を開始。公共の財産になることを見すえながら、約30年をかけて戦後日本を対象とした国内有数の前衛美術コレクションを築いたのです。彼らの願いは、現在それぞれのコレクションを収める国立西洋美術館と兵庫県立美術館に受け継がれています。

松方の生誕160年と山村の生誕100年を記念した本展は、国立美術館連携事業「コレクション・ダイアログ」の一環として、鑑賞機会の充実とコレクションの活用促進を図るため実現しました。松方コレクションからはロダンの彫刻など近代美術を、山村コレクションからは具体美術協会を中心にした戦後前衛美術を出品します。兵庫ゆかりの二人のコレクターが築いたコレクションの「ダイアログ＝対話」、ひいては二つの美術館のダイアログを通じて、先人がコレクションに託した夢とそのつづきを辿ります。

松方幸次郎と山村徳太郎



写真提供：川崎重工業株式会社

松方 幸次郎（まつかた こうじろう） 1866-1950

明治の元勲・松方正義の三男に生まれる。1896年川崎造船所の初代社長に就任。神戸新聞、神戸瓦斯の社長、衆議院議員等も務めた。第一次世界大戦中のロンドン滞在時にコレクションを開始し、幅広い年代とジャンルの作品を一挙に蒐集。総数は1万点を超えるともいわれる作品群は、関東大震災や昭和の金融恐慌の影響を受けて会社の経営が傾いたことにより散逸してしまう。パリに保管されていた約370点が戦後、日本に寄贈されることになり、その収蔵展示施設として1959年に国立西洋美術館が開設された。



山村 徳太郎（やまむら とくたろう） 1926-1986

兵庫県西宮市に生まれる。1948年に山村製壺所所長に、1955年には山村硝子株式会社取締役社長に就任。この頃より母ハルとともに美術作品の蒐集を開始。当初は国内外の近代美術を集めていたが、母の死を機に方針を転換して、戦後日本の前衛美術に対象を定めた。その結果、海外作家の作品8点を国立西洋美術館に寄贈している。1983年に社長を退任して蒐集活動は加速するも、3年後に志半ばにして逝去。翌年、164点のコレクション（後に3点追加）が兵庫県立近代美術館に収蔵された。

展覧会構成

第1章 | 松方コレクション

第一次大戦中のロンドン滞在時に作品蒐集を始めた松方幸次郎は、その後11年という短期間でイギリスとフランスを中心に一気にコレクションを形成します。懇意の専門家や批評家たちの助言を積極的に受け入れて画商から購入する一方で、クロード・モネのように直接交流を結んだ芸術家もいました。そうして築かれたコレクションは、ルネサンスから当時最新のものまで年代は幅広く、ジャンルも絵画、版画、彫刻、家具、タペストリーと多彩で、西洋の芸術を総合的に日本へ紹介しようという松方の意図がうかがえます。



フランク・ブラングイン 《松方幸次郎の肖像》 1916年
国立西洋美術館（松方幸次郎氏ご遺族より寄贈、旧松方コレクション）

1 | 松方幸次郎の夢：「共楽美術館」の建設計画

松方が作品を集め、美術館建設の構想を持つようになった背景にはイギリス人画家フランク・ブラングインとの出会いがありました。ロンドンではブラングインから助言を受けて作品を選定しており、彼の作品も多く購入しています。さらに、「共楽美術館」と名付けた夢の美術館のデザインもブラングインが請け負い、石膏を使った大きな建設模型まで作られたといえます。美術館の最初の建設候補地は、当時松方が住んでいた神戸でした。

2 | 松方幸次郎の夢：ロダンと《地獄の門》

ロダンが終生取り組んだ大作であるにもかかわらず、生前に完成することのなかった《地獄の門》は、松方の発注によってブロンズ鑄造が可能になりました。ロダンの準備には余念がありません。まずダンテの『神曲』『地獄篇』に着想を得た無数のデッサンを描き、徐々にアイデアを固め、あるいは展開させるようにして、独立・派生した彫刻を、石膏、大理石、ブロンズなどの素材を用いていくつも制作しました。

オーギュスト・ロダン《ダンテに話しかける亡霊たち、
『オーギュスト・ロダンのデッサン』（『アルバム・フナイユ』）より》
1897年出版 国立西洋美術館（松方コレクション）



第2章 | コレクション・ダイアログ

かつてロダンの《青銅時代》は、あまりに真に迫っていたため、モデルから直接型取りしたのではと疑われました。このエピソードは、当時型取りの技法に芸術的価値が認められていなかったことを示しています。しかしその90年後、シーガル（兵庫県立美術館蔵）は石膏による人物の型取りを制作手法として取り入れたのです。近代彫刻の父ロダンに始まる伝統的な規範からの逸脱は、次世代の彫刻家たちにより自由な選択肢を与え、1世紀のうちに彫刻の概念は大きく拡張されました。

オーギュスト・ロダン 《青銅時代》 1877年
国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏



第3章 | 山村コレクション

パブリック・コレクションとして世に残すことを目的に作品蒐集を始めた山村徳太郎は、はじめ国内外の近代美術を、その後戦後日本の前衛美術の蒐集に情熱を燃やしました。仕事の合間をぬって作家のアトリエを訪問し、画廊をめぐり、時にはヨーロッパにわたるなどしてコレクターとしての知識と経験をつみ、自らの足と審美眼を頼りに約30年をかけて形成したそのコレクションは、日本現代美術史の重要な一側面を今に伝えています。



ジャン（ハンス）・アルプ 《輪一森》 1961年
国立西洋美術館（山村徳太郎氏より寄贈）

1 | 山村徳太郎の夢：西洋近代美術コレクション

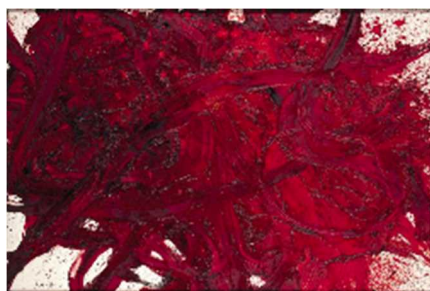
まず山村は、母とともに美術館の創設を見すえながら国内外の近代美術の蒐集を始めました。そのうち二十数点に及んだと推測されるミロやエルンストラ海外の作家による作品は、母の死の前後に活動方針を転換したことから徐々に手放されます。1965、67年に国立西洋美術館へ寄贈された8点は、山村の夢のはじまりでもありました。

2 | 山村徳太郎の夢：戦後日本の現代美術

母の死後、山村には大きな出会いがありました。津高和一の《母子像》は、新たな蒐集活動の第一号となった象徴的な作品です。そして、具体（美術協会）を率いた吉原治良、斎藤義重らとの出会いが続き、コレクションは充実していきました。量ではなく質を優先し、時には作品を入れ替えるなどして形成されたこだわりのラインナップには、多彩な活動や作品を体系的におさえようとした山村の意図が現れています。



津高和一 《母子像》 1951年
兵庫県立美術館（山村コレクション）



白髪一雄 《天異星赤髪鬼》 1959年
兵庫県立美術館（山村コレクション）

3 | 山村徳太郎の夢：具体美術協会

吉原治良が率いた具体は戦後日本美術史の重要な一角を担っています。欧米から遠く離れた島国日本で、早い時期から技法・材質における伝統的な枠組みを打ち破り、新しい表現を次々に生み出した彼らの活動は、海外においても近年その革新性や芸術性に対する再評価が進んでいます。海外に流出した作品を買い戻したり、失われた作品の再制作を作家に促したり、関連資料の体系的な収集も行うなど、山村は具体の活動を包括的に残そうとしました。

第4章 | 夢の続き

松方コレクションは激動の時代を背景に散逸したものの、松方が望んだように多くの重要な作品が日本にもたらされ、現在は国立西洋美術館に収まり、そこを訪れる国内外の人々の目に触れています。山村コレクションの大部分は兵庫県立近代美術館の収蔵となり、国内のみならず欧米への作品貸出等を通じて日本の前衛美術の普及に大きく貢献をしています。形を変えながらも受け継がれる彼らの夢は、知的財産を守ることの大切さを伝えてくれます。

オーギュスト・ロダン 《「地獄の門」のマケット（第三構想）》 1881-82年頃（原型）
国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏



関連イベント

■記念シンポジウム

「美術館における彫刻の活用と管理（仮）」

出演 | 藤原徹（仏国認定保存修復家/前東北芸術工科大学教授）
新田建史（静岡県立美術館 上席学芸員）
邊牟木尚美（国立西洋美術館 主任研究員 保存修復室長）
土谷あすか（安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 研究員）
岩松智義（兵庫県立美術館 学芸員）

日時 | 11月1日（日）13:00-17:40（開場12:30-）

会場 | KOBELCOミュージアムホール

定員 | 150名

※先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先枠あり

■記念講演会

「松方コレクションとロダン彫刻（仮）」

出演 | 陳岡めぐみ（国立西洋美術館 学芸課長）
日時 | 11月23日（月・祝）14:00-15:30（開場13:30-）
会場 | KOBELCOミュージアムホール
定員 | 150名

※先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先枠あり

■特別レクチャー

「山村コレクションの中の具体」

講師 | 鈴木慈子（横尾忠則現代美術館 学芸員）
日時 | 10月24日（土）14:00-15:00
会場 | レクチャールーム
定員 | 80名

※先着順

■映画上映会「わたしたちの国立西洋美術館」

日時 | 10月17日（土）①10:30- ②14:00-
会場 | KOBELCOミュージアムホール
料金 | 中学生以上1,000円、小学生・芸術の館友の会会員500円
本展の半券提示で800円、チラシ持参で900円

■学芸員による解説会

日時 | 10月24日（土）、11月7日（土）、12月19日（土）
いずれも11:00-11:45

会場 | レクチャールーム

定員 | 80名

※先着順

■ゆっくり解説会 in Autumn

展覧会の見どころを手話通訳および要約筆記付きで解説します。

日時 | 11月8日（日）13:30-14:25

会場 | レクチャールーム

定員 | 60名

※先着順

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時 | 会期中毎週日曜日11:00-11:15

会場 | レクチャールーム

定員 | 80名

※先着順

■こどものイベント

日時 | 10月25日（日）

※詳細は決まり次第、美術館ウェブサイト等でお知らせします。

※イベントの内容は変更になる可能性があります。詳細やその他のイベントは美術館ウェブサイトをご参照ください。

同時期開催の展覧会

■コレクション展Ⅱ

前衛って何だ？！
小企画 | 美術の中のかたち一手で見る造形 青木野枝
10月20日（火）- 2027年2月23日（火・祝）
特集 | 王一亭とその時代-近代上海芸苑と日中文化交流-
12月17日（木）- 2027年2月23日（火・祝）

■チャンネル17 黒川 岳

11月28日（土）- 2027年1月31日（日）

《Ando Gallery》

当館 2F（入場無料）

横尾忠則現代美術館で同時開催の展覧会

Curators in Panic 2 ~ 横尾忠則展 学芸員危機2髪？
9月19日（土）- 12月27日（日）

開催概要

国立美術館 コレクション・ダイアログ

松方幸次郎 × 山村徳太郎 ^{しゅうしゅう}蒐集のパッション —ロダンを日本へ、具体を世界へ

National Museum of Art, Collection Dialogue

Matsukata Kojiro × Yamamura Tokutaro Bringing Rodin to Japan, Taking Gutai to the World

会 期 2026年10月10日(土) - 12月27日(日)

休 館 日 月曜日

ただし、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館、10月13日(火)、11月24日(火)は休館

開館時間 10:00-18:00 ※入場は閉館の30分前まで

会 場 兵庫県立美術館 1F展示室

主 催 兵庫県立美術館、国立西洋美術館、国立アートリサーチセンター、神戸新聞社

特別協賛 川崎重工業株式会社、日本山村硝子株式会社

協 賛 公益財団法人伊藤文化財団、株式会社アトリエ安藤忠雄

特別協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

後 援 NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

観覧料

	当日券	団体料金	前売券 (10/9まで)
一般	1,800円	1,600円	1,600円
大学生	1,200円	1,000円	1,000円
高校生以下	無料	—	—
70 歳以上	900円	800円	—
障害者手帳等をお持ちの方 (一般)	450円	400円	—
障害者手帳等をお持ちの方 (大学生)	300円	250円	—

- ・前売販売期間：7月31日(金) - 10月9日(金) (会期中は販売しません)
- ・一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください
- ・障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料
- ・団体鑑賞(20名以上)でご鑑賞いただく場合は1ヶ月前までにご連絡ください
- ・コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります)

[主なチケット販売場所]

ローソンチケット	https://l-tike.com/shushu-no-passion/	Lコード：51583
チケットぴあ	https://w.pia.jp/t/matsukata-yamamura/	Pコード：687-532
セブンチケット	https://7ticket.jp/s/116769	セブンコード：116-769
イーラス	https://eplus.jp/shushu-no-passion/	
CNプレイガイド	https://www.cnplayguide.com/ssp/	受付番号：0570-08-9999(10:00~18:00 オペレーター対応)
アソビュー!	https://evt.asoview.com/matsukata-yamamura	
楽天トラベル観光体験	https://experiences.travel.rakuten.co.jp/experiences/62818?scid=we_txp_hyogo-officialsite	
ミュージアムショップ (一般前売券のみ)		

交通案内

- ・阪神「岩屋駅(兵庫県立美術館前)」から徒歩約8分
- ・JR神戸線「灘駅」南口から徒歩約10分
- ・阪急神戸線「王子公園駅」西口から徒歩約20分
- ・JR「三ノ宮駅」から神戸市バス(29、101系統)にて約15分、
「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



以下の①～⑦を広報用画像として貸出いたします。
 広報用画像貸出の申請は、下記申込フォームよりお送りください。

申込フォーム：<https://forms.gle/XHjdNwK6rHFHyV3V8>



①		フランク・ブラングィン 《松方幸次郎の肖像》 1916年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館（松方幸次郎氏ご遺族より寄贈、旧松方コレクション）
②		オーギュスト・ロダン 《考える人》 1881-82年 ブロンズ 国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏
③		オーギュスト・ロダン 《青銅時代》 1877年 ブロンズ 国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏
④		ジャン（ハンス）・アルプ 《輪一森》 1961年 ブロンズ 国立西洋美術館（山村徳太郎氏より寄贈）
⑤		津高和一 《母子像》 1951年 油彩・カンヴァス 兵庫県立美術館（山村コレクション）
⑥		白髪一雄 《天異星赤髪鬼》 1959年 油彩・カンヴァス 兵庫県立美術館（山村コレクション）
⑦		ポスタービジュアル ＊キャプション不要

【 画像使用に際しての注意事項 】

- ◎「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。 ◎作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。
- ◎基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「PR事務局」までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ **WEBメディアで使用する場合は、コピーガードが必要**となります。ただし、⑦のポスタービジュアルは、**コピーガード不要**です。
- ◎掲載媒体を1部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「PR事務局」宛にお送りください。
- ◎画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「国立美術館 コレクション・ダイアログ 松方幸次郎 × 山村徳太郎」PR 事務局
 （株式会社 TM オフィス内）担当：馬場、永井、西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：MatsukataYamamura@tm-office.co.jp

